



第一部

第三十二回

長唄

杵三會

令和七年8月10日(日) 今池ガスホール

第二部

令和六年度

名古屋市芸術奨励賞 受賞記念公演

第一部

15時開演

第一部

10時開演

主催
杵三會

TEL.052-763-5706





令和6年度名古屋市芸術賞授賞式
(2025年1月31日)

• 第32回 •

杵三会 長唄

令和6年度名古屋市芸術奨励賞受賞記念公演

演奏曲目

第一部

十時
小品集・紙人形
藤の花・お月さま

末 広 狩

元 禄 花 見 踊

筑 摩 川

十一時

春 秋

藤 娘

江 島 生 島

十二時

多 摩 川

名披露

鞍 馬 山

十三時
賤の芋環

浦 島

鞠 猿

鶯 娘

十四時

常盤の庭

第二部

十五時

恋の熱田めぐり

黎 明

創作

吉野天人

第一部 ● 午前十時開演
第二部 ● 午後三時開演

お祝いのことば

名古屋市長

広沢一郎



第三十二回 長唄杵三会 令和六年度名古屋市芸術奨励賞受賞記念公演が盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

名古屋市芸術奨励賞は、将来の活躍が期待される芸術創造活動を行っている個人または団体に、本市が授与しているものです。杵三会会主の杵屋三太郎様には、この賞にふさわしい個人として、令和六年度に授与させていただきました。改めて心よりお祝い申し上げます。

杵屋三太郎様は、徳川慶喜の三味線指南役を務めたとされる初代杵屋三太郎の名跡を六代目として襲名され、二〇年以上、長唄の伝承とその普及発展のためにご活動されてきました。代々の三太郎の集めた古典を紐解きつつ、新たな楽曲の創作や後進の育成にも精力的に手掛けられ、本市の文化振興に大きく寄与いただいています。ここに深く敬意を表します。

杵屋三太郎様の今後より一層のご活躍を期待申し上げますとともに、本公演のご成功と、貴会のみまますのご発展並びに皆様のご健勝を心から祈念いたします。

お祝いの言葉

CBCテレビ代表取締役社長

松波啓三



令和六年度名古屋市芸術奨励賞受賞記念公演「第三十二回 長唄杵三会」が開催されますことを心からお慶び申し上げます。

杵屋三太郎様は、徳川慶喜の三味線の指南役を務めたとされる初代の名跡を六代目として襲名され、現在は幅広い世代に三味線を通じて日本の伝統文化の奥深さを伝えていらっしゃいます。若い世代はもちろん小学生も多数参加される杵三会の演奏会には、次世代に繋がっていく伝統文化の明るい未来を感じています。日頃のご指導と文化継承へのご尽力に心から敬意を表します。

この度の受賞記念公演では、杵屋三太郎様が作曲され熱田神宮で奉納演奏された「恋の熱田めぐり」もご披露予定と伺っています。熱田の名所旧跡が美しく盛り込まれたこの曲が、雅に華やかに演奏されることを楽しみにしております。

最後に本公演のご盛会と、杵三会の益々のご発展ならびに皆様の一層のご活躍、ご健勝をお祈りいたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

杵屋三太郎の至芸

南山大学名誉教授
東海学園大学客員教授

安田文吉



先ずは、名古屋市芸術奨励賞受賞おめでとうございます。

三太郎家元の芸は、時に爽やか、時に艶やか、時にしつぽり、時に鮮やか。聴く人の心に、様々な思いを植え付けていきます。三味線の手の確かさ、その表現力の確かさは見事なものです。古典から新作まで、多様な作品を手がけて、遜色がありません。

今回の、「藤娘」「鞆猿」から家元の作曲になる「恋の熱田めぐり」まで、バラエティに富んだ番組は、家元の自由闊達な芸風にピッタリの組み合わせです。

名古屋市芸術創造賞や芸術奨励賞の受賞は、その芸の素晴らしさが、世の中で認められたから。今後益々のご活躍を祈念します。

感謝の気持ちを込めて

六代目 杵屋三太郎



本日は連日の酷暑の折にも関わらず、第三十二杵三会——令和六年度名古屋市芸術奨励賞受賞記念公演にお越しいただき、誠にありがとうございます。

関係者各位の皆様のご支援、諸先生方のご指導、杵三会の皆様を催すことができ、心より感謝申し上げます。

名古屋を代表する豪華なゲストの先生方に、この上ない大きな花を添えていただき、幸甚の至りでございます。

「恋の熱田めぐり」は五條園美先生と花柳朱実先生の華やかな舞、野村祐子先生の美しいお箏の響きに酔いしれて、杵屋六春様はじめお囃子さんの皆様と賑やかに！

「黎明」は私の師匠、杵屋幸諷先生と杵屋彌十郎お家元様にお支えいただき、黎明の如く初心に返るつもりで演奏させていただきました。

「創作 吉野天人」は新しいことへのチャレンジ、謡曲の幽玄さと艶のある長唄がどう化学反応を起こすか？ 東京藝術大学の同級生の観世流シテ方林道治様をお迎えし挑戦します。

今後も更なる精進を重ねて参ります。ご指導ご鞭撻のほど伏しお願い申し上げます。

第一部 午前十時開演

長唄杵三會



十時

一、小品集

紙人形
藤の花
お月様

三味線 鈴木香乃音 (大二)

竹島さくら (高三)

田中椿倉 (小五)

土井麻衣花 (小四)

兵藤緋奈乃 (小五)

武田明莉 (小四)

松田明果璃 (小四)

伴明日葉 (年長)

(舞台面)

二、末広狩

NHKカルチャーセンター名古屋教室

三味線 高橋理

滝成り人

岡田麻央

浦山由美

名倉光子

奥田貞子

柳原美帆

杵屋三太郎

唄 松田由香里

近藤洋子

前田由美子

三味線 太田愛梨

竹島さくら

鈴木香乃音

池田ひとみ

清水律子

中島薫

横内久幸

唄 松田康子

岡本弘子

太田志麻

(舞台面)

三

元祿花見踊

唄 杵屋三和彩

杵屋三柴

杵屋三太樹

杵屋三太杏香

春見 恵

三味線

杵屋三太郎

杵屋三太櫻

杵屋三太英

杵屋三太章

吉田 倭望

(替) 杵屋三太采佳

囃子 望月左之助連中

四

筑摩川

唄 杵屋三和雄

大高意具

石原吉巳

三味線

杵屋三和峰

杵屋三太和

杵屋三和茂登

十一時

五、春

秋

唄 杵屋三太章

杵屋幸諷

三味線

杵屋三太郎

杵屋三和彩

囃子 望月左之助連中

六

藤

娘

唄 安藤清巳

杵屋三太和記

大高意具

三味線

杵屋三和茂登

杵屋三太和

杵屋三和雄

杵屋三和峰

七、江島生島

唄 深津 和子

杵屋三太和紀

三味線 杵屋三太和

杵屋三和佳

（蔭囃子）

九、鞍馬山
名披露

唄 新名取 杵屋三太英

杵屋三太和

杵屋三柴

三味線 杵屋三太郎

杵屋三太采佳

(上) 杵屋三和彩

囃子 望月左之助連中

十二時

八、多摩川

唄 杵屋三太杏香

杵屋三柴

春見 恵

三味線 杵屋三太采佳

杵屋三太郎

吉田 倭 望

十、賤の芋環

唄 杵屋三太和紀

杵屋 幸 諷

杵屋三太和

三味線 杵屋三太郎

杵屋三和佳

杵屋三和峰

囃子 望月左之助連中

一時

十一、浦島

唄 杵屋三和佳

杵屋六春

深津和子

三味線 杵屋三太和

杵屋三和峰

杵屋三和雄

囃子 望月左之助連中

十二、靱猿

唄 杵屋三太樹

杵屋幸諷

杵屋三太杏香

三味線 杵屋三太郎

杵屋三柴

(上) 杵屋三和彩

十三、鷺娘

唄 杵屋六春

杵屋三太章

杵屋三太英

杵屋三柴

三味線 杵屋三太周

杵屋三太郎

春見 恵

杵屋三太采佳

囃子 望月左之助連中

十四、常盤の庭

二時

唄 杵屋三柴

杵屋幸諷

杵屋三太樹

三味線 杵屋三太郎

杵屋三和彩

杵屋三太櫻

囃子 望月左之助連中

第二部

午後三時開演

平成六年度 名古屋市長古屋市芸術奨励賞受賞記念公演

一 恋の熱田めぐり

三味線 杵屋三太郎
杵屋三澄那

令和四年(二〇二二)

作詞 安田文吉

作曲 杵屋三太郎

作調 望月左之助

箏手付 野村祐子

作舞 五條園美／花柳朱実

恋する若い二人が、都(京都)を

目指して東海道を上り、^{のぼ}宮宿に

辿り着き、熱田の宮に参拜、折角

宮宿に来たのだからと、宮周辺

の歴史的名所・旧跡をめぐりま

す。折から熱田は祭の真つ最中。

草薙の剣を祀る熱田さん本社の

祭と摂社南新宮社の天王祭。日

本六十四州の安泰と病魔退散を

祈ります。二人は祭の喧噪に庄

倒されながら、町内の篠提灯を

楽しみつつ祭の宵闇に消えてい

くと言った物語。

(解説 安田文吉)

二 黎明

三味線 杵屋三太郎
杵屋彌十郎

昭和七年(一九三二)

作詞 中内蝶二

作曲 山田抄太郎

富士山の素晴らしい夜明けを表

現した曲。

ほんのりと紫がかかった東の空が

藍色となり、紅がさして横雲が

金色に輝き出し、宇宙の森羅万

象が眠りから覚めたように鮮や

かな世界が広がります。

三味線 杵屋三太郎
杵屋彌十郎

唞 杵屋幸諷

笛 鳳聲晴久

立方 五條園美
花柳朱実

陰囃子 住田長祐

箏 野村祐子

胡弓 川勝ももこ

立方 五條園美

花柳朱実

創作 吉野天人

天保十四年（一八四三）初代杵屋六翁により作曲された長唄吉野天人と謡曲吉野天人を融合させ、艶のある長唄の旋律に幽玄な美しい世界を織り混ぜて表現します。

千種楽

三味線 杵屋三太郎

杵屋三澄那

唄 杵屋六春

東音野呂美貴

観世流シテ方

分わけ林ばやし道みち治はる

地謡 浦部幸裕

河本進

小鼓 住田長祐

大鼓 望月左京

太鼓 望月左喜十郎

笛 鳳聲晴久

特別出演

長唄

杵屋幸諷

杵屋六春

東音野呂美貴

三味線

杵屋彌十郎

杵屋三澄那

囃子

望月左之助

望月左京

望月左喜十郎

望月左太助

住田長祐

鳳聲晴久

箏

野村祐子

胡弓

川勝ももこ

観世流シテ方

分林道治

地謡

浦部幸裕

河本進

スタッフ

楽器

銀とらや

舞台・音響

若尾綜合舞台研究所

衣裳

森式 北徳

かつら

森式 名古屋舞踊かつら英

顔師

佐藤和恵

アナウンス

平松千恵子

印刷・デザイン

あるむ



いずれも
見学・体験が
可能です。

奏でてみましょう！ 少人数でイチから習う

はじめての三味線

お子様からご年配の方まで皆さんで楽しめる三味線講座です。

何か始めたいと思っている方、三味線に興味がある方この機会に三味線を体験してみませんか？

日時	会場	受講料
土曜日(第2・4) 13:00~14:15	NHK文化センター名古屋教室	6ヶ月(12回、要入会) 41,184円 ※三味線レンタル(希望者) 3,960円

経験者の方には

「たのしい三味線」

土曜日(第2・4) 14:30 ~ 15:45

受講料(各講座) 6ヶ月(12回、要入会) 35,772円 ※三味線レンタル(希望者) 3,960円

「もっとたのしい三味線」

土曜日(第2・4) 16:00 ~ 17:15

お気軽にお問い合わせください 窓口・電話[受付時間 9:30-18:00(土17:00/日12:00まで)] TEL 052-952-7330

NHK文化センター 名古屋教室 〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK名古屋センタービル7階



初代杵屋三太郎愛用三味線「幸栄」(早稲田大学演劇博物館所蔵)

III 杵三会

事務所

〒464-0843 名古屋市千種区丸山町 2-47-1

☎ 052-763-5706

杵屋三太郎ホームページ

<https://kineya-santaro.com/>

